

いろいろな虫の口と食べ方

3年

1 はじめに (調べようと思ったきっかけ・理由)

ぼくはカブトムシとクワガタが大好きで、飼っています。カブトムシはブラジルのような口をしていて、おもしろいです。ほかの虫の口はどのような口をしているのかきになって本でしらべてみました。

2 調べてわかったこと ※図や表、しりょうはべつの紙に書いてから、のりではる。

(1) クロオオアリのロー 小動物の死がいや、くものたねなどを食べていてそのため図①のように口がギザギザになっており、こうごにかみあうようになっています。



(2) オニヤンマのロー 空中でエ物をつかまえて食べます。前から見たら口は見えないけど、下から見たら口が見えます。いろいろ、わからぬエ物があります。かまねると、いたいのので、ゆびを、口にちかづけてください。(図②)



(3) バッタのロー 図③のように、黒い口のような形をしています。なぜかと言うと、おもに葉、はらを食べているからです。たまにも食いをすることもあります。

図③

(4) カブトムシのロー 図④のようにブラジルのような口をしています。じょうきにはたしはこませて、ちめます。



3 まとめ (どのような学びがあったか。これから調べてみたいことなど。)

虫の口は、いろいろな口をしていて虫にあった食べ物がいろいろあることがわかりました。ほかのいろいろな虫の口を次は調べてみたいですね。

4 参考にした本(著者や監修者・書名・発行所・発行年・図書館名)

〈出てん〉『オニヤンマ』2015年7月27日。

『クロオオアリ』『オンゴツバシ』小学館の図かん。N E O 昆虫

『なぜ?の図鑑 昆虫』(学研プラス 2015年)